



新見市男女共同参画情報紙

りぼん

vol.23
2017.2

この街で自分の やりたい仕事をする



今回の『りぼん』は、まだまだ、男女比に差がある職場で働いている方にインタビューをして、働くきっかけや自分らしく働く工夫などを聞きました。



◆警察官 森本 佳恵さん



森本雄委員

警察官を目指したきっかけは？

警察官になりたいと思っただけは、三つ年上の兄が警察官になったことでした。兄の話す警察官の仕事は大変そうでしたが、魅力的に思いました。

その職業を選んだときの家族や友人の反応は？

家族は特に反対もなく「頑張りなさい」という感じでした。友人は驚く人が多かったです。

その仕事に就いて女性であるために大変だったことは？

体力面で男性に劣る部分があり、柔剣道、逮捕術で悔しい思いをする

ことも多かったです。

採用当初と現在で変わったことは？

警察官になって8年目、自分が警察官になった頃よりも女性警察官の数が増えたように思います。また、職場環境も、女性用トイレの増設、女性宿直室の改善などよくなっています。

学生時代のエピソードを！

警察学校時代の勉強、体力面など大変なことも多かったですが、登山、健脚訓練など楽しいこともありました。

自分らしく働くための工夫は？

知識面、技術面に未熟なところも多く、日々努力をしています。また、男性警察官に負けたくないという意識を常に持ち続けることです。

同じ職業を目指す人へアドバイスを！

大変な面も多い職業ですが、やり



がいや喜びも大きい仕事だと思います。警察官に必要な法令の勉強などは、なつてからでも間に合うので、それよりも今しかできない経験をしっかりして欲しいと思います。

◆保健師 戸田 康治さん



森本裕委員

保健師を目指したきっかけは？

学生時代、病院での看護学実習中に、糖尿病で入院していた患者さんが合併症で下肢を切断、さらに目も見えなくなり、それを苦に自殺されました。この時に、病気を予防するための仕事が必要と感じたことです。

その職業を選んだときの家族や友人の反応は？

家族には「挑戦してみればいい」

と言われ、応援してもらいました。友人には、職業名の認知度も低いことから、「何をする人？」と聞かれるのがほとんどでした。

その仕事に就いて男性であるために大変だったことは？

最初に担当した地域では受け入れが良く、助けられました。赤ちゃん訪問は赤ちゃんの様子だけでなく、母親の様子も見ないといけないので、精神面など同性でないと分かることができなことも多くあると感じました。

就職した当初は特に保健師＝女性のイメージが強く、初対面の方には驚かれたり、信用が低かったです。また、職場内に男性の保健師がないため、男性ならではの悩みに関する相談は難しかったです。

採用当初と現在で変わったことは？

就職して12年目。職場環境は前の部署より多少男性が増えましたが、女性が多い環境に変わりありません。また、職場内には男性の保健師は増えていませんが、県内全域では増えてきているので、情報交換や相談がしやすくなりました。

学生時代のアルバイトを！

保健師になるまでの課程では、男女比は1対9で圧倒的に女性が多かったです。慣れてくると男女関係なく交流できたので、学校行事などは楽しく参加できました。

学年が上がるごとに実習期間が長くなり、事前準備や勉強が深夜までかかり、当時は大変でした。

男性のせいとか実習の実験台、採血や清拭の練習台となることが多かったです。また、イベントシーズンは同級生が試作するお菓子の味見をすることが多かったです。

自分らしく働くための工夫は？

自分のペースを崩さないように心がけ、どの職種も同じだと思えますが、メンタルヘルス※は重要なので、精神的に落ち着ける時間を作ることが意識しています。

※メンタルヘルス…精神的健康



同じ職業を目指す人へアドバイスを！

看護師ほどではありませんが、男

性保健師も少しづつ増えて相談しやすい環境になりつつあります。

生活習慣病だけでなく介護も予防重視の世の中になってきています。目に見える形での達成感を感じにくい面もありますが、予防に携わる仕事は今後ますます重要になるので、国家試験「合格」に向けて頑張ってください。

◆ 消防士 橋本 真実さん



消防士を目指したきっかけは？

大学生のとき、就職説明会に女性消防士が来られ「女性の消防士もいるんだ、カッコイイ」と思ったのがきっかけです。

体を動かすことが好きなので、その時はトレーニングをしながら人助けもできるなんて、何て理想的な職

場なんだと思いました。



その職業を選んだときの家族や友人の反応は？

大学の同級生には消防士を目指している男性が多かったので、「一緒に頑張ろう」と言ってくれました。

女友達には驚かれましたが、「あなたらしい」と応援してくれました。

家族は「好きにしたらいい」という感じでしたが、いざ就職が決まったら心配していました。今は「女性消防士がテレビに出た」など気に掛けて応援してくれています。

その仕事に就いて女性であるために大変だったことは？

車両点検や訓練などで重い資器材など、一人で持てないものがある場合に困ります。筋力の差はやはり大きいですが、トレーニングをして自分の筋力をあげる努力をしています。

私は身長が低いです、支給される制服は基本的に男性用です。ものによっては、一番小さいサイズでも

大きかったりするのが困ります。

採用当初と現在で変わったことは？

消防士になって5年目になりますが、女性更衣室や女性仮眠室ができ、職場環境は良くなっていると思います。また、女性が救急現場に出場するようになりましたし、私を含め新見の女性消防士は3人となり、岡山県でも女性消防士は増えていきます。女性の幅広い活躍を今後も期待します。

学生時代のエピソードは？

体育学科に所属していたので、体のしくみを勉強することや、遠泳実習、キャンプ実習、スキー実習など体を動かす授業や実習が多かったです。私は陸上部に所属していたので活動に明け暮れる日々でしたが、その頑張りが今の自分の糧になっていると確信しています。

自分らしく働くための工夫は？

あいさつ・笑顔がモットーなので、朝一番は元気なあいさつと笑顔で仕事を始めるように心掛けています。

また、救急現場では、女性だからこそ頼りになる対応や男性とは違っ

た視点で考えられる強みを生かして
いきたいと思っています。

同じ職業を目指す人へアドバイスを！

隔日勤務で夜間の仕事もあるので、
体調管理はとても大切です。また、
体力が特に必要な仕事です。部活動
などで身体づくりや体力づくりをし
て、どんどん自分を高めていってく
ださい。児童、生徒、学生の方で機
会があれば職場体験に来てほしいで
す。実際に体験してみることで消防
士という仕事をもっと身近に感じる
ことができると思います。

◆**保育士 城井田 陽介さん**



保育士を目指したきっかけは？

中学生の時にいった職場体験での

経験が大きいです。子どもたちの夢
中で遊ぶ姿にとっても魅力を感じ、成
長を見守っていただけるこの仕事に就き
たいと思いました。また、その保
育所の先生方の優しく子どもに接す
る姿、子どもの思いを上手に受け止
める姿に憧れを抱きました。

**その職業を選んだときの
家族や友人の反応は？**

「いいんじゃない？」と思った以上
に普通の反応でした。

**その仕事に就いて男性である
ために大変だったことは？**

子どもたちが母性を求めている部
分を感じることもあり、男性では対
応が難しく感じる場合があります。

採用当初と現在変わったことは？

環境が変わりはありませんが、周
りの先生からの自分に対する接し方
に「男性」として扱われる部分が減
ってきました。

学生時代のエピソードを！

そもそも女性ばかりの中で生活す
ることに不安があったので、大学を

選ぶ時に男性の割合の多い大学を選
びました。クラスの中は、みんな仲
が良く、遅くまで練習や準備をし
たり、また、フットサル部や軽音部な
どサークル活動にもたくさん参加し、
楽しかったです。

自分らしく働くための工夫は？

休みの日には友達と食事をしたり、
趣味の時間を作ったり、仕事のオン
とオフとでしっかりと気持ち切り
替えるようにしています。

同じ職業を目指す人へアドバイスを！

子どもの成長をそばで見守ること
ができるこの仕事はとてもやりがい
があります。ピアノが苦手、歌が苦
手、運動が苦手…みんな苦手なこと
があります。そういった苦手は仲間
と補うことができます。子どもが好
きだという思いがあるなら思い切っ
て挑戦してみてください。



編集後記

編集委員長 川本 太問

仕事を初めて30年あまり、オー
ナーからおしかりを受けるかもわ
からないが、現在の仕事は志を持
って始めたわけでもなく、学校を
卒業したら、「就職をする」という
流れでここまでできてしまった。

今回、りぼんのインタビューに
答えてくださった方々は、ある程
度ビジョンをもって仕事を始めら
れており、のほほんと始めた僕に
とっては頭のさがる思いだ。これ
からも大いに活躍していただき新
見市の活性化に一役かってほしい。
この編集後記を担当して早いの
ので5年になろうとしている。最
近のマンネリ感はいなめず、締め
切りに追われる恐怖も味わいを増
している。奇をてらって、世相を
切ったりしたいのだが、薄っぺら
な情報と処理能力ではすぐ馬脚を
現してしまい、到底うまくいきそ
うにもない。地方紙の編集長の社
説とはいかないまでも、読み手に
興味をあたえられるものになれば
と思っはいるのだが。この辺り
で世界情勢よろしく変革の波が僕
にも訪れてもいいのかもしれない。